

平成 28 年度事務事業評価表(一般用)

事務事業名		部課コード	040200	2998-9053
事業コード	市庁舎修繕事業	管財課		
040206		グループ 庁舎管理G		
開始年度		昭和 63 年度	終了年度	平成 年度

事業の概要	事業の種類	自治事務	法定受託事務	法定受託 + 附加	根拠法令
	分野別計画・指針				
	関連・類似事業				
	総合計画の体系	章 行財政運営	節 行政経営	基本方針	総合計画の実現に向けた計画行政の推進
事業開始の背景	老朽化等に伴う設備の修繕工事を実施することにより、市役所来庁者や職員の安全性・快適性の確保及び市庁舎の執務環境の維持向上を図る。				

事業の内容	目的(どのような効果を目指して実施しているのか、具体的に)				
	市庁舎施設(建物・空調・機械・電気・衛生設備等)の老朽化にともなう設備の性能維持及び改善				
	対象(誰を、何を対象としているのか)	対象数	単位	平成 26 年度	1 施設
	市庁舎施設の性能維持及び改善			平成 27 年度	1 施設
事業の具体的な内容及び実施方法	<ul style="list-style-type: none"> ・修繕計画に基づく修繕・工事の実施 ・設備の突発的故障等による修繕・工事の実施 ・設備の定期点検、日常点検の不具合指摘事項による修繕・工事の実施 ・ユニバーサルデザインの採用等、施設の安全対策や利便性向上のため修繕・工事の実施 				

会計種別	一般会計	平成 26 年度 (千円)	平成 27 年度 (千円)	平成 28 年度 (千円)
予算現額		46,715	23,300	74,572
決算(見込み含む)		43,056	32,300	
(非常勤特別職員)	(臨時的任用職員)	(0.00 人)	(0.10 人)	(0.00 人)
正規職員人件費		1.26 人	10,988	1.51 人
事業費合計		54,044	45,377	
財源内訳	一般財源	54,044	45,377	74,572
	国・県支出金			
	その他()			

「財源内訳」について平成28年度のみ、当初予算の内訳となっています。

実績	活動実績	項目名	項目説明	単位	H 26	H 27	H28見込み	将来目標
		建築・衛生・厨房設備	建築、給排水、厨房設備の修繕・工事件数	件	27	26	15	15
電気設備	電気設備の修繕・工事件数	件	10	7	15	15		
空調・機械設備	空調、機械設備の修繕・工事件数	件	13	22	15	15		

成果	成果指標	項目名	項目説明	単位	H 26	H 27	H28目標値	将来目標
		緊急修繕達成件数	緊急修繕必要件数すべてを実施	件	目標値 50	57	50	50
実績				実績 50	55	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大図 <input type="checkbox"/> 縮小図		
目標達成状況	どれだけ目標に近づいているかを達成率として示しています		%	達成率	100	96	どちらかをチェックしてください	

改善点	(1)平成27年度中に改善した点(改善内容・その結果について記載してください)	(2)平成27年度成果指標の目標値が未達成の理由・分析
	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化の度合いを考慮しつつ、効率的修繕・工事を実施した。 ・各種点検による指摘事項の内、安全面にて緊急性の高い事項に重点を置いた。 ・地下ラック式駐車場の安全装置交換により、設備の安全性向上を図った。 	予算上、一部修繕については、翌年度対応とする必要があったため。

評価	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 終了	事業実施方法(複数選択可) <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> その他	理由	市庁舎の老朽化により、修繕を要する箇所や設備の更新が拡大するため。
	次年度予算 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 現状維持	理由	市庁舎の老朽化によって、故障が続発しており、毎年多額の修繕料をかけ、部分修繕や設備の延命措置を行なっているため。	
評価	(1)平成28年度に取り組んでいる状況		(2)今後の方向性	
	市庁舎は建設後30年を経過しており、特殊建築物定期点検では、外壁タイルの浮きやクラックなどの劣化が指摘されている。これを受け、庁舎の東面・西面・南面については、既に改修工事を行っていることから、残った北面の改修工事を28年度に行う。		多くの市庁舎設備は期待寿命(20~25年)を超過し、故障続発や保守部品の入手困難などにより修理に多くの時間を要す状況である。本庁舎は市民の利用者が最も多い施設であり、設備の故障は行政運営に多大な影響を与えるため、至急、設備の更新が必要である。今後は関係各課と設備の更新時期や優先順位、並びに財源の確保などの調整を行っていくものとする。	
評価日	H27.7.11	評価者職氏名	管財課長 吉田 直樹	

環境影響	有益な環境影響	5-2安心な都市空間の整備	有害な環境影響を及ぼす原因活動	市庁舎修繕により廃棄物排出	規制を受ける環境法令等	無
					緊急事態	無